

平成28年度 北海道花き・野菜技術研修 Q&A

Q 1 花・野菜技術センターとは、どんなところですか？

名前のとおり、北海道の新たな戦略作物として期待される「花」と「野菜」の専門試験場として、「品種改良」、「栽培技術の開発」、「土壌肥料」、「病害虫」に関する試験研究を行っています。が、「花」と「野菜」の一層の発展を支援するために北海道の農業試験場で唯一「研修部門」を設置しています。

そのため、名称も「〇〇試験場」ではなく、「花・野菜技術センター」としています。

Q 2 花・野菜技術センターは、どこにありますか？

北海道のほぼ中央部にある滝川市にあり、市内中心部から東に約8 Kmほどの場所に位置し、道央自動車道滝川インターチェンジにも近く、自動車のほか、JRやバスなどの交通機関が利用できます。

Q 3 「専門技術研修」と「総合技術研修」の違いは？

専門技術研修は、高度な専門技術の習得を目的に、希望する研究グループに配置し研究員からの個別指導を中心とした研修です。このため、花き・野菜に関する専門知識や技術を持った方を対象としています。

総合技術研修は、今後、花き・野菜の栽培や技術指導を行う方などを対象に、花き・野菜の栽培に関する「基礎理論」から「実践技術」までを講義や栽培演習などによりわかりやすく指導します。

Q 4 どのような方が受講していますか？

専門技術研修は、農業大学校研究課程学生、農業者、市町村・JAなどの技術指導者の方々が受講されています。

総合技術研修は、農業後継者（新卒者を含む）、Uターン就農者、新規参入（予定）者など多様な方が受講されています。

Q 5 指導するのは？

専門技術研修は、配置された研究グループの研究員などが指導にあたります。

総合技術研修は、当センターの研究員や外部からの講師による指導のほか、経験豊富な専任スタッフが対応します。

Q 6 研修はどのような内容ですか？

研修を行うための専用の「ほ場」、「温室」、「ハウス」を用意し、実際に作物を栽培する研修が出来ます。

専門技術研修は、受講者が自分の学びたい課題に合わせて受講時期、受講期間、受講方法などを計画し、当センターと調整の上、研修の内容を決めます。

総合技術研修の講義は、主要な花きや野菜の特性など、基本的理論を教室で学びます。

総合技術研修の演習は、主要な花きや野菜について、生育状況を見ながら指導者と共に作業計画等を検討し栽培を進めることにより、栽培管理の技術を学びます。さらに、受講者が自主的に、営農時に取り入れたい品目を選定し、施肥設計から、育苗、定植、防除等の栽培実践を講師の指導のもと行えます。

Q 7 農業の経験や知識がなくても大丈夫ですか？

専門技術研修は、ある程度の農業（指導）経験や知識のある方を対象としていますが、総合技術研修は、農業経験の有無に関わらず、農業者や技術指導者を目指す意欲的な方を歓迎します。

Q 8 年齢制限はありますか？

道内に在住する、農業者や技術指導者（目指す方）で心身ともに健康な方ならば、年齢は問いません。

Q 9 就農地は決まっていなくても、将来、農業をやりたい人でも受講できますか？

北海道で就農を目指す方であれば受講は可能ですが、（公財）北海道農業公社理事長（北海道農業担い手育成センター）又は市町村長の推薦が必要となります。

Q10 趣味で家庭菜園をやっている人も受講できますか？

受講できません。

本研修は、現に営農されている方や、今後営農を計画されている方又は、JA営農指導者など、農業関係者の方を対象にした研修であるため受講できません。

Q11 全寮制ですか？

全道から研修生が集まるため、当センターには「研修寮（全室個室）」を設置しています。

研修寮は、研修生の宿泊の便宜をはかるだけでなく、相互の情報交換の場として役立っており、受講される方には入寮をお勧めしていますが、毎日通うことが可能な方には、入寮は義務づけていません。

Q12 授業料や教材費はどれくらいかかりますか？

研修にかかる授業料・教材費は不要ですが、研修寮の食費は各自の負担となります。食費は、朝食300円、昼食400円、夕食500円（各1食あたり、消費税別）です。

Q13 受講したいが長期間家を空けることができません

多くの方に受講していただくため、それぞれの事情は出来るだけ考慮いたします。

総合技術研修については、6ヶ月間と研修期間は決まっていますが、すべて受講できなくても、おおむね8割の受講を目安に修了を認めることができます。

農繁期に家の手伝いをする必要があるなどの事情がある場合は、ご相談ください。

Q14 受講した方の感想は？

当センターでは、研修の感想等を無記名アンケートで調査しておりますが、これまでに受講された方のほとんどが、「知人や友人に研修の受講を勧めることができる。」と回答されています。

詳しくは

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部
花・野菜技術センター 研究部 技術研修グループ 主査（研修）
滝川市東滝川735番地 / TEL 0125-28-2800
E-mail sphanayasai@hro.or.jp
URL <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/hanayasai/index.html>